

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	あけぼの学園 八木寮	施設種別	知的障害者入所更生施設 (旧体系：)
評価機関名	社団法人 京都社会福祉士会		

平成19年11月23日

総 評	<p>京都府南丹市八木町にある知的障害者施設で、そばには丹波養護学校があります。付近一带は深い緑に覆われ落ち着いた雰囲気となっております。養護学校卒業後の方々を受け入れるために地域の方々の支援・協力により、この施設ができました。昭和57年に設立され当初よりバリアフリー対応となっております。</p> <p>利用者は、永年、この施設を利用されている方が多く、職員との信頼感も厚く、地元の方々との交流にも取り組み、さまざまなサークル活動、課外活動にも盛んに活動されています。障害者支援費制度への過渡期にあって法人としては常にコストを意識した中長期計画に基づく経営手腕が求められます。そのためにも中長期計画の早期着手が望まれます。職員は日々業務に当たるうえで、利用者本位のサービスとなるように活動されています。さらに上を目指すためには、組織体系の整備や、スーパーバイズできる体制の確立に努め、マニュアルなどを含めた日常業務での書類を整備して、日々の業務に役立ててください。</p> <p>また地域との良好な共存関係を維持しつつ、使える社会資源、開発できる社会資源等を考慮して新制度への移行も視野に、関係機関及び地域との連携を今以上に密にし、利用者の高齢化に備えてください。認知症ケア、医療・看護・介護面についての継続的な専門研修が望まれます。</p>
特に良かった点(※)	<p>Ⅱ - 4 - (1)①</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域社会との関わりが優れています。地域の方々も協力的で、交流も盛んで、共生の関係が随所に見られます。 <p>Ⅲ - 1 - (2)①</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 利用者の自己決定が尊重されています。また自律のための取り組みがなされています。 <p>A - 2 - (1)②</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 食事においては利用者からの希望・要望が取り込まれ、質の向上を目指す意気込みが感じられます。食材も極力地元産の新鮮な素材をふんだんに使用しておられます。利用者の摂食状況に合わせて、刻み・ミキサー食等きめ細かい対応がなされていることも評価いたします。

特に改善が 望まれる点(※)	<p>I - 1 - (1)及びI - 1 - (2)</p> <ul style="list-style-type: none">● 理念の掲示、及びその周知・徹底を心掛けてください。また利用者向けに理念をわかりやすい表現に吟味して置き換え、伝達する場面についても考慮してください。 <p>Ⅲ - 1 - (1)②及びⅢ - 2 - (2)①②</p> <ul style="list-style-type: none">● さまざまな業務の手本となるマニュアル・手順書を整備し、定期的な更新・見直しもご検討ください。 <p>今回の調査を振り返って</p> <ul style="list-style-type: none">● スタッフ間のコミュニケーションを十分にはかるとともに、現場職員の声を汲み取る配慮が望まれます。
-------------------	---

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【共通評価基準】

評価結果対比シート

受診施設名	あけぼの学園 八木寮
施設種別	知的障害者更生施設
評価機関名	社団法人 京都社会福祉士会
訪問調査日	平成19年12月6日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	C	B
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	C	B
	I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	C	B
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	C	B
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	C	C
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	C	C
	I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。	C	B
		② 計画が職員や利用者に周知されている。	C	B
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	C	B
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	C	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	C	B
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	C	B

【自由記述欄】

I-1-(1)①事業所概要書に定められている理念を掲示し、契約書、パンフレット等に明記することが求められます。

I-1-(2)①理念を玄関先に掲示し、パンフレット、ホームページに掲示することが求められます。また職員に周知・徹底させる工夫をご検討ください。

I-1-(2)②理念を利用者にわかりやすい表現に直して伝える方法を吟味してください。また自治会である”さくらんぼ会”での法人の理念および運営方針及び事業計画の周知についても検討してください。

I-2-(1)①中長期計画については文書化されていませんが、その構想は方向性が見えるものであります。その計画書を書面にすることが求められます。また事業計画については随時の見直しも習慣づけてください。

I-3-(1)①管理者のみならず全職員の職域の責任範囲、行動規範の基準をより明確に規程されてはいかがでしょうか？

I-3-(1)②法令遵守を踏まえ、各種研修、勉強会に積極的に取り組んでおられます。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	C	B
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	C	C
		③ 外部監査が実施されている。	C	B
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	C	B
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	C	C
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	C	B
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	C	B
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	C	B
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	B	A
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		B	B	
II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	B	B
		② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	B	B
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	B	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	B
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	C	B
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	C	A
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	B	B
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	C	B
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		C	B	

【自由記述欄】

・このII項目においては、いろいろな書類の整備及びマニュアル化がなされていないために、良い評価に至らなかった項目が数多くありました。いろいろな事項について、会議等では論議されていますが、詳細に書面化されていない点が惜しまれます。各マニュアルについても整備を急ぐとともに、随時の見直し、更新も求められます。

II-1-(1)①～③経営状況について、常に問題意識を持って検証するシステムづくりが求められます。

II-2-(1)②人事考課制度の策定についてもご検討ください。

II-2-(3)①～③研修計画を法人として確立させたいうえで、八木寮として各班ごとの計画を作成することが求められます。計画についての随時の見直しもご検討ください。

II-2-(4)①実習生の受け入れに対しては、その体制作りができており、実習指導者研修も行われています。

II-4-(1)①地元小学校の方々との交流、八木町の「ふれあいふくしまつり」に参加するなど、地域との関わりが優れています。

II-4-(2)①地元をはじめとしたさまざまな社会資源を有効に活用されています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	C	B	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	C	C	
	Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	B	A	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	B	A	
	Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	B	B	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	C	B	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	C	C	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	C	B
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	C	B
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			C	B	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	C	C	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	C	C	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	B	B	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	C	B	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	B	B	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B	B
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		B	A	
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	B	B	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	C	B	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	C	A	
	Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	B	A	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	B	B	

【自由記述欄】

Ⅲ-1-(1)②プライバシーについてのマニュアルの整備が求められます。
Ⅲ-1-(2)①②利用者満足度について、嗜好調査をする仕組みがあるのが優れています。その他の事項についても、利用者のニーズの把握に努めておられます。
Ⅲ-1-(3)①～③自治会である”さくらんぼ会”での利用者の意見を聴く工夫、もしくは個別に意見を聴く場面作りもご検討ください。
Ⅲ-2-(2)①②個々の利用者へのサービスについての総合的なマニュアルの整備が求められます。
Ⅲ-2-(3)①～③サービス記録の整備について、近くOA化されるとのことですが、全職員が連携して取り組むことを希望します。
Ⅲ-3-(1)②サービス開始にあたっては、利用者及び家族等にわかりやすく十分に説明を行ったうえで、契約を取り交わしています。
Ⅲ-4-(1)①及びⅢ-4-(2)②個別サービス計画については、OA化に合わせてアセスメント～モニタリングまでのPDCAサイクルを常に意識して活用されることが望まれます。
Ⅲ-4-(1)②利用者各自のニーズや課題の把握に努め、半年に1回見直しを実施されています。
Ⅲ-4-(2)①サービス担当者として、療育班の担当者が定められており、利用者及び家族等からの希望を尊重しつつ、サービス実施が行われています。また記録も詳細にとれています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【付加基準】 評価結果対比シート

障害者児施設

受診施設名	あけぼの学園 八木寮
施設種別	知的障害者更生施設
評価機関名	社団法人 京都社会福祉士会
訪問調査日	平成19年12月6日

【付加基準】障害者・児施設版 評価結果対比シート

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 利用者の尊重	(1)利用者の尊重	① コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている	B	B
		② 利用者の主体的な活動を尊重している	B	A
		③ 利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている	C	A
		④ 利用者のエンパワメントの理念にもとづくプログラムがある	C	B

【自由記述欄】

A-1(1)①自治会である”さくらんぼ会”が設立されていて、利用者の意見を述べることができます。
 A-1(1)②③寮内では、さまざまな療育活動が行われています。手芸、洗濯、野菜栽培、椎茸栽培、砂糖の袋詰め作業、清掃作業、紙すきなどいろいろなことに積極的に取り組んでおられます。
 A-1(1)④利用者のエンパワメントを実現できる取り組み、支援がなされていますが、その文章化が課題です。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 日常生活支援	(1)食事	① サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている	B	B
		② 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている	B	A
		③ 喫食環境(食事時間を含む)に配慮している	B	B
	(2)入浴	① 入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している	C	B
		② 入浴は、利用者の希望に沿って行われている	C	A
		③ 浴室・脱衣場等の環境は適切である	A	A
	(3)排泄	① 排泄介助は快適に行われている	C	C
		② トイレは清潔で快適である	C	A
	(4)衣服	① 利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援している	B	B
		② 衣類の着替え時の支援や汚れに気づいたときの対応は適切である	C	B
	(5)理容・美容	① 利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援している	B	A
		② 理髪店や美容院の利用について配慮している	A	A
	(6)睡眠	① 安眠できるように配慮している	A	A

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 日常生活支援	(7)健康管理	① 日常の健康管理は適切である	A	A
		② 必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる	B	B
		③ 内服薬・外用薬等の扱いは確実に行われている	A	A
	(8)余暇・レクリエーション	① 余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている	B	A
	(9)外出、外泊	① 外出は利用者の希望に応じて行われている	B	B
		② 外泊は利用者の希望に応じるよう配慮されている	B	B
	(10)所持金・預かり金の管理等	① 預かり金について、適切な管理体制が作られている	B	A
		② 新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意思や希望に沿って利用できる	A	A
		③ 嗜好品(酒、たばこ等)については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意志や希望が尊重されている	A	A

【自由記述欄】

A-2(1)①～③食事については、利用者の声がすぐに反映される点が優れています。冷凍食品を使わず、地元産の食材をできるだけ使用し、暖かいものをすぐに利用者の摂食状況に合わせて、普通食、刻み、ミキサーなどに細かく対応している点が評価できます。利用者みなさんも食堂で後片付けをセルフ方式でされています。

A-2(2)①入浴については、原則として夏季は毎日、冬季でも週3日ですが、必要に応じて部分浴で対応されています。

A-2(3)①女子トイレについてはすべてウォシュレット対応で、男子トイレについても一部がウォシュレット対応になっている点が評価できます。またトイレについてはプライバシー保護がしっかりと確保されていました。

A-2(5)①②男子の理容については職員で対応し、女子については職員が付き添って美容院へ出向いて行く支援ができております。

A-2(7)①医療体制では、内科及び精神科の嘱託医がおり、協力医療機関も決められております。口腔ケアについては、歯科衛生士による口腔クリーニングが実施されており、歯科の衛生意識向上に寄与しております。

A-2(7)③処方薬の管理は、看護師により適切に管理されております。

A-2(8)①8月の夏祭りには、利用者の意見を聴くとともに、地域の方々にボランティアとして来ていただいて利用者満足度の向上に役立てておられます。

A-2(9)①②外出についても、希望者にできるだけ添えるような取組がなされています。

A-2(10)①～③預り金については、管理及び家族への報告が適切にされています。嗜好品についても本人の希望が尊重されています。